

植物友の会活動記録

田川 朋男

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者の集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、

昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、法人の賛助会員が年額 5,000 円となっている。10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて（賛助会員は除く）、今年度 10 月以降の入会は 2 人の申込があった。

現在、会員数は個人会員が 216 人、家族会員が 57 組 144 人、企業等の賛助会員が 19 団体である。

表 1. 平成 17 年度植物友の会事業記録

1. 行事の開催

月 日	事務事業	場 所	内 容	備 考
平成 17 年 4 月 29 日(金)	講習会 ボランティア	大温室前広場	春の植物公園まつり ハーブの香り袋作り教室 指導:会員6名	一般参加者60名
5 月 5 日(木)			葉拓画教室 指導:会員7名	一般参加者70名
5 月 6 日(金) 9 時 30 分～12 時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入	部会員 17 名 職員 1 名
5 月 7 日(土)～ 8 日(日)	山草部会展示	展示資料館 ロビー	山草部会展示	部会員 17 名 93 点出品
5 月 8 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会①	植物公園講堂	スライド「タスマニアの植物観察」 報告者:濱谷技師 夏の園芸作業と園内観察	会員122 名 職員 3 名
5 月 14 日(土)	観察会	廿日市市吉和	大向長者原線の植物 講師:広島大学大学院助教授 中坪孝之氏	会員 28 名 職員 3 名
7 月 10 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会②	植物公園講堂	スライド「春の観察会 大向長者原線の植物」 報告者:平井技師 園内植物観察	会員 81 名 職員 3 名
8 月 27 日(土) 10 時～12 時 13 時～15 時	講習会①	植物公園講堂 及び小会議室	クラフト作り 講師:中島十三子氏	会員 7 名
			コケ玉作り 講師:今村撰氏	会員 16 名
9 月 2 日(金)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入	会員 36 名、職員 1 名
9 月 3 日(土) ～9 月 8 日(木)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展	展示監視14名、 会員 34 名 160 点出品
9 月 4 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会 ③	植物公園講堂	スライド「キノコに関する話」 報告者:井本敏和氏 秋の園芸作業	会員 91 名 職員 2 名
9 月 23 日(金)	講習会②	植物公園内	カエデ園コースの植物観察 講師:今村撰氏	会員 12 名
10 月 15 日(土)	観察会	庄原市東城町	上帝釈の植物 講師:広島大学理学部助教授 山口富美夫氏	会員 30 名 職員 4 名
10 月 30 日(日)	講習会ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア ハーブ香り袋作り教室 指導:会員 7 名	一般参加者 60 名
11 月 3 日(木)			葉拓画教室 指導:会員 8 名	一般参加者 70 名
11 月 13 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会④	植物公園講堂	スライド「秋の観察会 上帝釈の植物」 報告者:山本課長補佐 冬の園芸作業	会員 67 名 職員 2 名
平成 18 年 1 月 8 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会⑤	植物公園講堂	スライド「木曾駒ヶ岳の植物」 報告者:中島保廣氏	会員 72 名 職員 2 名
3 月 12 日(日) 13 時 20 分～15 時	例会⑥	植物公園講堂	総会 春の園芸作業及び園内植物観察	会員 90 名 職員 2 名

2. 会誌「はなの輪」の発行

平成 17 年 4 月	2005 年 通巻第 103 号	平成 17 年 8 月	2005 年 通巻第 104 号
平成 17 年 10 月	2005 年 通巻第 105 号	平成 18 年 2 月	2006 年 通巻第 106 号

表 2. 平成 17 年度植物友の会ボランティア活動報告

月 日	内 容	参加人数
4 月 19 日	花炭、木の実クラフト製作	5名
4 月 20 日		3名
4 月 25 日	はなの輪、例会案内発送	8名
4 月 29 日	ハーブの香り袋作り教室の指導 〔春の植物公園まつり〕	6名
4 月 30 日	花炭、木の実クラフトの販売〔春 の植物公園まつり〕	4名
その他 4 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		33名
5 月 1 日	花炭、木の実クラフトの販売〔春 の植物公園まつり〕	2名
5 月 5 日	葉拓画作り教室指導〔春の植物公 園まつり〕	7名
5 月 8 日	例会準備、友の会花壇花殻摘み	4名
5 月 16 日	友の会花壇植付など	6名
5 月 28 日	友の会花壇作り	1名
5 月 30 日		2名
5 月 31 日		2名
その他 5 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		19名
6 月 7 日	友の会花壇作り	4名
6 月 18 日	花の輪、例会案内発送	4名
その他 6 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		20名
7 月 10 日	例会準備、友の会花壇コンテナ作 り	3名
7 月 19 日	友の会作品展準備	5名
7 月 20 日		5名

月 日	内 容	参加人数
その他 7 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		28名
8 月 25 日	花の輪、例会案内発送	4名
その他 8 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		16名
9 月 3 日	夜間開園準備	1 名
9 月 4 日	秋のグリーンフェア準備	5名
9 月 10 日	夜間開園準備	1 名
その他 9 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		13名
10 月 17 日	花炭作り	4名
10 月 18 日	秋のグリーンフェア準備	3名
10 月 25 日	クラフト作成、講習会準備 〔秋のグリーンフェア〕	9名
10 月 30 日	ハーブの香り袋作り教室指導 〔秋のグリーンフェア〕	7名
その他 10 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		20名
11 月 3 日	葉拓画作り教室指導 〔秋のグリーンフェア〕	8名
11 月 5 日	コスモスのお花摘み手伝い	1 名
11 月 10 日	友の会花壇	3名
11 月 13 日	友の会花壇バンジー植付	4名
11 月 27 日	チューリップ植付	1 名
その他 11 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		24名
12 月 8 日	クリスマス夜間開園リハーサル キャンドル着火	2名
その他 12 月分 (子供花壇、カスケード管理等)		15名
計		312名

活動 (表 1、2)

(1) 例会・運営委員会

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催され、植物についてのビデオ、スライドや栽培講習、園内の案内、種苗交換などを実施した。

また、例会の事前調整が必要なことから、例会前に打ち合わせを行ない、例会後も、運営委員会 (委員 8 人) を開き、事業の執行計画や予算などについて毎回話し合った。

(2) 講習会

年 2 回。リースなどのクラフト作りやコケ玉作りの他、平成 17 年度秋にはカエデ園を会場とし、会員の今村 撰氏による植物解説を実施した。(写真 1)

(3) 観察会

年 2 回春と秋に、日帰りで実施。近郊の野山に出かけ、野性の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図った。平成 17 年度は、春に廿日市市吉和の大向長者原線林道へ、秋には庄原市東城町の上帝釈峠へ出かけた。(写真 2) 講師は、それぞれ広島大学助教授の中坪 孝之氏と山口富美夫氏にお願いした。

(4) 展示会

年 1 回秋に、鉢物、写真、絵、クラフトなどを出品し、友の会作品展として開催している。(写真 3)



写真 1. クラフトづくり講習会 (平成 17 年 8 月 27 日)

平成 17 年度は 160 点の出品があった。また、5 月、山草部会が鉢物を中心にロビー展を開いた。

(5) 園内ボランティア

植物公園において、表 2 のとおり、植栽、教室・講習会の指導、公園まつりの準備・販売・会誌の発送作業などを実施、幅広く活躍されている。特に春の植物公園まつりや秋のグリーンフェアには毎回参加され、花炭・絵ハガキなどの販売や、葉拓画・ハーブの香り袋作り教室の指導をし (写真 4)、また、毎月第 1、3 火曜日、第 2、4 木曜日は作業日としている。延べ人数は平成 14 年に 72 名、平成 15 年に 140 名、平成 16 年に 223 名、平成 17 年に 312 名。ボランティア活動への理解が得られ、人数、

回数が著しく増えている。

(6) 会誌の発行

植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年4回発行、会員に配布している。

(7) 部会

山歩クラブと山草部会がある。

前者は、毎月1回例会として近郊の山に出かけ、年1回県外遠征、総会、懇親会を行い、年4回の会報を発行している。会費は年額3,000円である。後者は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回例会を開いている。会費は年額1,000円である。

(8) 友の会花壇

園芸作業の講習を実際に体験でき、会員相互の交流が進み、友の会が魅力ある組織となっていくことを目的として、展示資料館横の花壇を平成17年度より友の会が管理することとなり、運営委員会が中心となって計画を策定した。第1回例会の後に会員等によって植えられていたパンジーを抜き取り、管理し易いように、また直横に自動販売機があるため、利用者が花壇を傷めないようにレンガを使って、園内ボランティアの有志で設計・施工を行なった。(写真5) 植え替えは年3～4回行なう予定で、

中央にコンテナを置くスペースを設けている。平成17年度は、春にネメシア、ペゴニアなどを植栽し、夏にギボウシ、コリウス、イソトマ、サルビアなどを植栽し、コリウスなどのコンテナを配した。冬場にはパンジーの苗を植栽した。

主な課題と今後の方向

入会して間もない人の退会が多く、本年度は会員数が減少した。今後は全会員にアンケート調査を実施し、会員のニーズに合った新しい企画を早急に立ち上げて、会員の増加を図らなくてはならない。また広島県西部だけでなく、東部方面にも広報を行い、新規会員の獲得を目指す。来年度から計画している新規企画としては、

- ①例会での観察会報告を園内案内に切り替え、植物公園の魅力や見どころをガイドボランティアを兼ねている会員によって解説。
- ②山歩クラブ、山草部会に続く新たな部会の立ち上げ(写真部等)。
- ③例会等の行事や管理ボランティア時に無料でできるサービスや参加し易い行事を充実。
- ④販売の強化など収入源の確保。



写真2. 観察会の様子 (平成17年5月14日)



写真3. 友の会作品展 (平成17年9月3日)



写真4. 園内ボランティアの築垣画教室 (平成17年6月22日)



写真5. 友の会花壇 (平成17年6月22日)